

### 米田俊信議員

#### 桜の名所を

議員 桜の名所づくりをどう考えるか。

#### 5ヶ所を整備

町長 常願寺川右岸で桜並木と遊歩道を整備したい。当面は常願寺川公園、岩崎野桜つつみ、横江頭首工周辺、本宮砂防堰堤周辺、千寿ヶ原周辺など5ヶ所を重点的に整備し、将来的には、これを1本の線としたい。桜は植樹してからの手入れが大切であり、サクラ守(もり)養成講座を実施し、町内にある桜の保護育成に取り組む。

#### 新規の保育所は

議員 児童福祉施設の建設、利便性ある新規の保育所を検討しているのか。

#### 説明会の開催を

町長 利田、新川、五百石の



常願寺川右岸

北部地区を中心とした仮称「北部地区保育所」の建設に向けて、統合による保育所施設の抜本的整備や、保育内容等、全力を傾けて努力するので、建設に向けた懇談会や説明会の開催にご協力いただきたい。説明に納得いかない点や不明があれば、いつでも説明に伺う所存である。

#### 議員 企業誘致の動向は。

産業観光課長 安定感ある立山町の運営を図る上からも取り組みを強化したいと考えており、立山地域産業振興計画の策定を実施し、来年の3月までに企業誘致の基本的な方針や具体的な手法等を盛り込んだ内容で取りまとめた。



8月の豪雨災害(横江地内)

合理化を進めるなど経営努力している。県民の資産として守っていかなければならない。

#### 富山県地域交通ビジョンには

議員 市町村の役割が明記されているが、これまでの対応は。

#### ノーマーカイデーを

企画政策課長 職員のノーマーカイデーを実施した。

#### 関連施設改修に向けて

議員 利用増や駅舎ほかの関連施設の改修に向けて、地鉄と具体的な協議をしているのか。

#### 国の事業で補助を

企画政策課長 国・県・関係市町村が一定の割合で補助する鉄軌道近代化設備補助を行っている。

### 舟橋貴之議員

#### 富山地方鉄道立山線と町政は

議員 南北に長いわが町にとって生命線とも言えるほど重要な公共交通機関だと考えるが。

#### 立山観光の拠点

町長 町民のみならず立山観光の拠点である立山駅に通じる公共交通機関のシンボルと思う。

#### 鉄道事業法一部改正を踏まえて

議員 石田前助役が「収支採算の悪い路線は、今までのより容易に撤退できることになった。地域における交通手段の確保はますます厳しくなるのでこの点を懸念している」と答えていたが。

#### 県民の資産として守りたい

町長 地鉄は鉄軌道やバス路線、娯楽施設等を経営し、



### 村田 昭議員

#### 石綿セメント管は

議員 アスベストが含まれている古い水道管が一部残っていると思うが、実態と対応は。

#### 1、2年でなくしたい

水道事業所長 残存石綿セメント管は810m(全体の0.3%)で、1、2年でなくしたい。

#### 議員 民間の建築物や、一般住宅におけるアスベスト使用の総合的な対応は。

住民環境課長 町民の不安を解消するため、県、町のホームページ、広報たてやまに相談窓口など掲載し対応したい。

#### 小水力発電は

議員 石川県、白山市で手取川七ヶ用水土地改良区の小



石綿セメント管取り替え工事

水力発電システムを視察した。町における事業の見通しは。

#### 実施計画を作成

住民環境課長 平成18年度は農村振興総合整備事業の実施計画を作成し、調査結果、財政状況を踏まえ検討したい。

#### 議員 北海道中空知衛生施設組合の視察では、バイオガス発電システムで発酵汚泥を乾燥させ、堆肥として売却益を得ている。

町のEMはかし肥事業の展開は。

住民環境課長 平成18年度以降に堆肥化施設が整備され次第、町民に理解を深めていただき、取り組みたい。



#### アスベスト対策は

議員 町有の建物、学校、保育所、公民館の施設のアスベスト調査を行ったか。

#### 予算措置が済み次第

町長 保有する施設86箇所を設計図書または目視により調査したが、61施設では使用が認められていない。予算措置が済み次第撤去する。

#### 豪雨に対する対応は

議員 小、中学校では豪雨による緊急避難、大雨警報発令時の避難マニュアルはどのようにしているか。

#### 集団登下校や保護者への登下校

教育課長 最新の天候情報を把握し、通学路の危険箇所や道路状況を確認の上、安全管理を指導している。校外学習や野外活動実施時の安全確保、集団登下校、保



乳幼児の命を守るチャイルドシート

#### 安全協会に助成する

住民環境課長 交通安全協会に貸し出しをしているので、協会に20セット分補助を行う。

#### チャイルドシートに助成は

議員 乳児期、幼児期とチャイルドシートの使い分けが必要であり、若い親にとって負担が大きいが、子育て支援として助成する考えはないか。

護者との登下校、学校待機など安全対策が図られている。